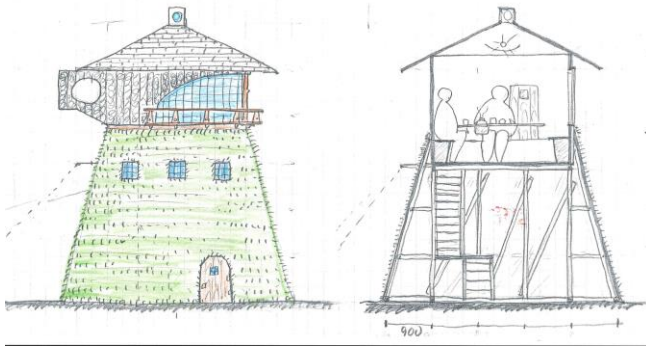


Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13
「パビリオン・トウキョウ 2020」参加建築家・アーティスト発表
2020 年 6 月から都内に複数のパビリオンが出現



「茶室 2020」設計: 藤森照信 <本プロジェクト案>



「焼杉のひさし」(仮称) 設計: 石上純也 <本プロジェクト案>

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、パビリオン・トウキョウ 2020 実行委員会は、2020 年に向けて展開する「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13」の 1 つとして、「パビリオン・トウキョウ 2020」を実施します。

「パビリオン・トウキョウ 2020」は、世界にまだ知られていない日本文化の魅力を世界に伝えるためのプロジェクトです。近年、世界各地で活躍し注目を集めている日本人の建築家 6 名とアーティスト 1 名に、それぞれ独自のパビリオンを設計してもらい、来る 2020 年、新国立競技場を中心とするエリアに設置し、国内外からの観光客や住民に未来の建築やアートとして紹介します。制作される 7 つのパビリオンには、それぞれの建築家、アーティストたちの東京の未来への願いが込められ、観客は地図を片手に宝さがしのように、あるいは散歩のかたわらパビリオンを巡ることができます。参加建築家・アーティストは藤森照信、妹島和世、藤本壮介、石上純也、平田晃久、藤原徹平、会田誠の 7 名を予定しています。

「パビリオン・トウキョウ 2020」は 6 月 6 日(土)から 9 月 13 日(日)の間に見学可能です。今後、制作過程などを公開しながら、本企画を通して東京の都市としての魅力を広く発信していく予定です。

【実施概要】

企画名: パビリオン・トウキョウ 2020

開催時期: 2020 年 6 月 6 日(土)~9 月 13 日(日) (100 日間)

会場: 新国立競技場を中心に半径約 3km 圏内の 7ヶ所を予定

参加予定建築家・アーティスト:

藤森照信、妹島和世、藤本壮介、石上純也、平田晃久、藤原徹平、会田誠 ※順不同

主催: 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、
パビリオン・トウキョウ 2020 実行委員会

企画: ワタリウム美術館

運営: パビリオン・トウキョウ 2020 実行委員会

【建築家、アーティストプロフィール】 ※順不同

■ 藤森照信(ふじもり てるのぶ)

1946年生。東京大学大学院博士課程修了。現在、江戸東京博物館館長、東京大学名誉教授、工学院大学特任教授。近代建築史・都市史研究を経て1991年、45歳のときに〈神長官守矢史料館〉で建築家としてデビュー。土地固有の自然素材を多用し、自然と人工物が一体となった姿の建物を多く手掛けている。建築の工事には、素人で構成される「縄文建築団」が参加することも。代表作に〈タンポポハウス〉、〈ニラハウス〉、〈高過庵〉など。近作に〈多治見市モザイクタイルミュージアム〉や「ラ コリーナ近江八幡」の〈草屋根〉、〈銅屋根〉などがある。

■ 妹島和世(せじま かずよ)

1956年生。日本女子大学大学院修了後、伊東豊雄建築設計事務所を経て独立。95年に西沢立衛とともにSANAA設立。主な作品に「金沢21世紀美術館」、「DIOR表参道」、ルーヴル美術館の分館「ルーヴル・ランス」など。第12回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展にて、日本人、そして女性として初めてディレクターを務める。プリツカー賞、日本建築学会賞、紫綬褒章他受賞多数。

■ 藤本壮介(ふじもと そうすけ)

1971年生。東京大学卒業後、2000年に藤本壮介建築設計事務所を設立。主な作品に、「House N」、「武蔵野美術大学美術館・図書館」、ロンドンの「サーペンタイン・ギャラリー・パビリオン2013」など。2011年の「台湾タワー」ほか、多数の国際設計競技で最優秀賞を受賞。現在、フランス、ベルギーなどで数々のプロジェクトが進行中。

■ 石上純也(いしがみ じゅんや)

1974年生。東京藝術大学修士課程修了後、妹島和世建築設計事務所を経て、2004年石上純也建築設計事務所を設立。日本建築学会賞、第12回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展金獅子賞など受賞多数。主な作品に「神奈川工科大学 KAIT 工房」、「水庭」など。2018年、パリのカルティエ現代美術財団で大規模個展を開催。

■ 平田晃久(ひらた あきひさ)

1971年生。京都大学大学院修了後、伊東豊雄建築設計事務所を経て2005年に独立。主な作品に「Kotoriku」、「太田市美術館・図書館」など。第13回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展金獅子賞、村野藤吾賞など受賞多数。2016年にニューヨーク近代美術館の「A Japanese Constellation」展に参加。現在京都大学教授。

■ 藤原徹平(ふじわら てっぺい)

1975年生。横浜国立大学大学院修士課程修了後、隈研吾建築都市設計事務所にて、世界20都市以上のプロジェクトを担当。2009年に独立、2012年より横浜国立大学大学院Y-GSA准教授を務める。建築のみならず美術展の会場構成や、NPO法人ドリフターズインターナショナル理事として、建築・映画・ファッションなど異文化の融合が生み出す新しいプロジェクトを幾多の都市で実践している。

■ 会田 誠(あいだ まこと)

1965年生。東京藝術大学大学院修了。2012年、森美術館で大規模個展「天才でごめんなさい」を開催。平面作品に限らず、彫刻、パフォーマンス、映像など多彩な活動を行う。

※参加建築家・アーティストやプログラム内容は予告なく変更になる場合があります。

【Tokyo Tokyo FESTIVAL とは】

オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組です。

【Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13 とは】

斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、Tokyo Tokyo FESTIVAL の中核を彩る事業として、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京が実施するものです。

国内外から応募のあった 2,436 件から選定した 13 の企画を、「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13」と総称し、オリンピック・パラリンピックが開催される 2020 年に向けて、順次展開していきます。

公式 WEB サイト：<https://ttf-koubo.jp/>

＜お問い合わせ先＞

パビリオン・トウキョウ 2020 実行委員会事務局 ワタリウム美術館内(担当:杉山)

TEL: 03-3402-3001 / FAX: 03-3405-7714

E-mail: official@watarium.co.jp